

(再評価)

資料 3 - 7 - ①  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会  
(平成22年度第3回)

# 国道6号 大和田拡幅

平成22年9月24日

国土交通省 関東地方整備局

# 目 次

1. 位置図	1
2. 事業の目的と計画の概要	2
3. 事業進捗の状況	3
4. 事業の必要性に関する視点	5
5. 費用対効果	8
6. 事業進捗の見込みの視点	10
7. 今後の対応方針(原案)	11



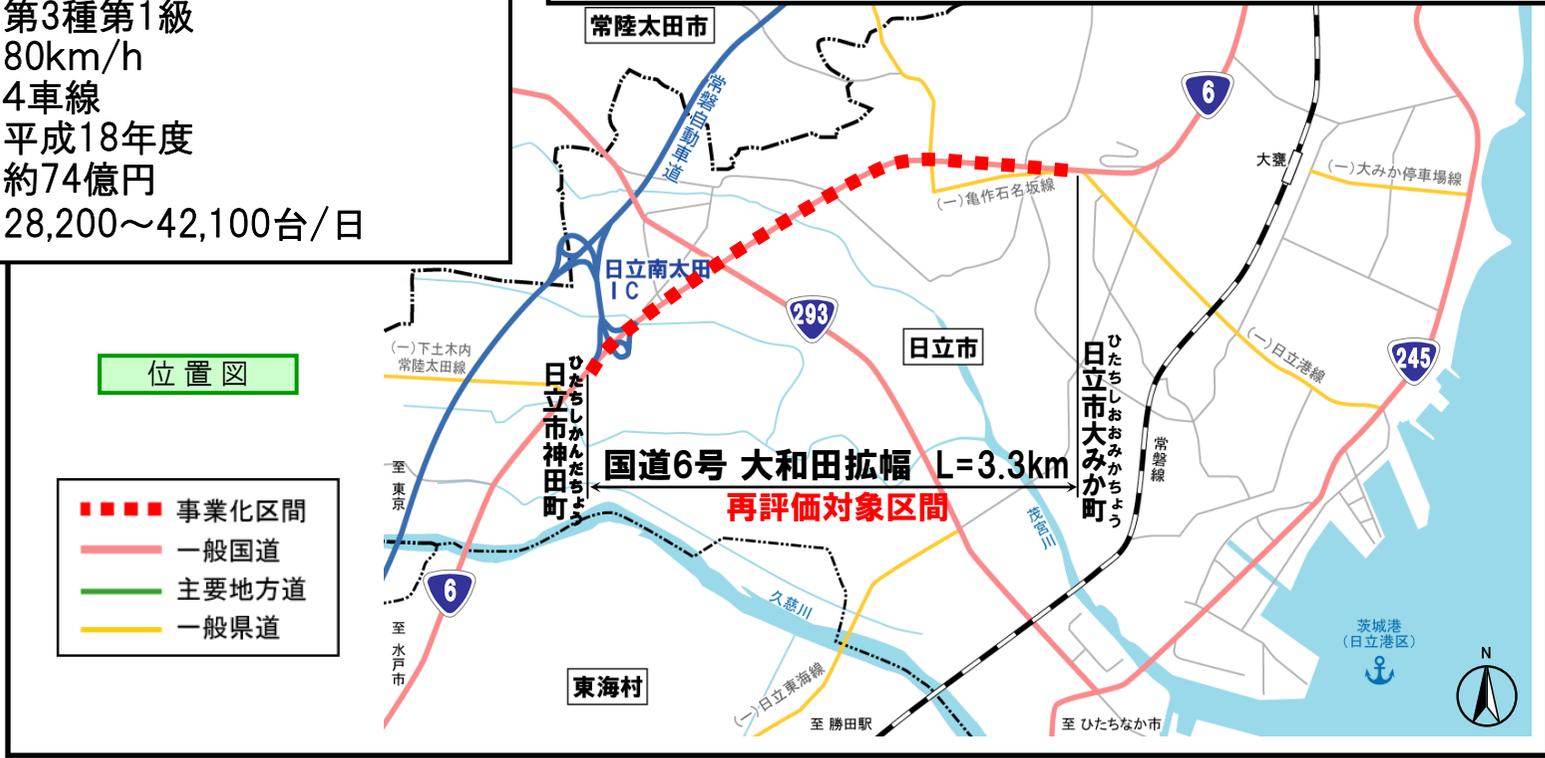
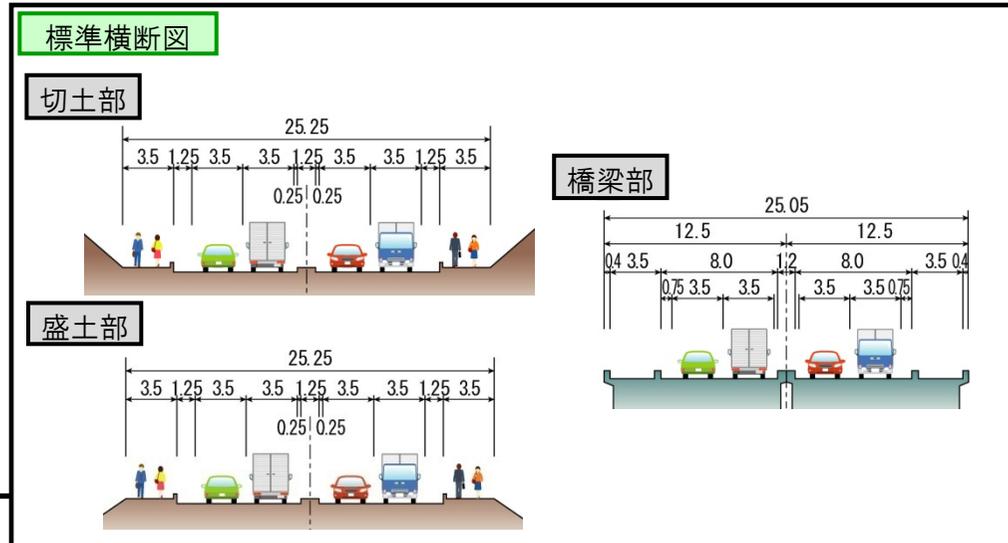
# 2. 事業の目的と計画の概要

## (1) 目的

- ・交通渋滞の緩和および安全性の確保
- ・地域連携および地域産業の発展

## (2) 計画の概要

区 間 : 自) 茨城県日立市神田町  
 至) 茨城県日立市大みか町  
 計画延長 : 3.3km  
 幅 員 : 25.25m  
 道路規格 : 第3種第1級  
 設計速度 : 80km/h  
 車線数 : 4車線  
 事業化 : 平成18年度  
 事業費 : 約74億円  
 計画交通量 : 28,200~42,100台/日





### 3. 事業進捗の状況

#### ・ 周辺の状況

- 日立市内を南北に縦貫する道路は国道6号、国道245号である。
- 南北のネットワークが弱いため、住宅地域、工業地域からの交通が国道6号、国道245号に集中している。
- また、茨城港が重要港湾（103港）の中から重点港湾（43港）に選定（2010年8月3日）され、大和田拡幅周辺地域は港湾を核とした地域産業振興が期待されている。



# 4. 事業の必要性に関する視点

## (1) 国道6号の渋滞状況

- ・国道6号の当該区間では、主要渋滞ポイントである大和田町交差点を中心に交通混雑が発生。
- ・当該区間の損失時間は約64千人時間/年・kmで、全国平均(20.3千人時間/年・km)の約3倍。
- ・大和田町交差点付近では、損失時間209千人時間/年・kmで全国平均(20.3千人時間/年・km)の約10倍。
- ・大和田拡幅整備により、渋滞の緩和が見込まれる。



①大和田町付近の交通状況



③石名坂町付近の交通状況

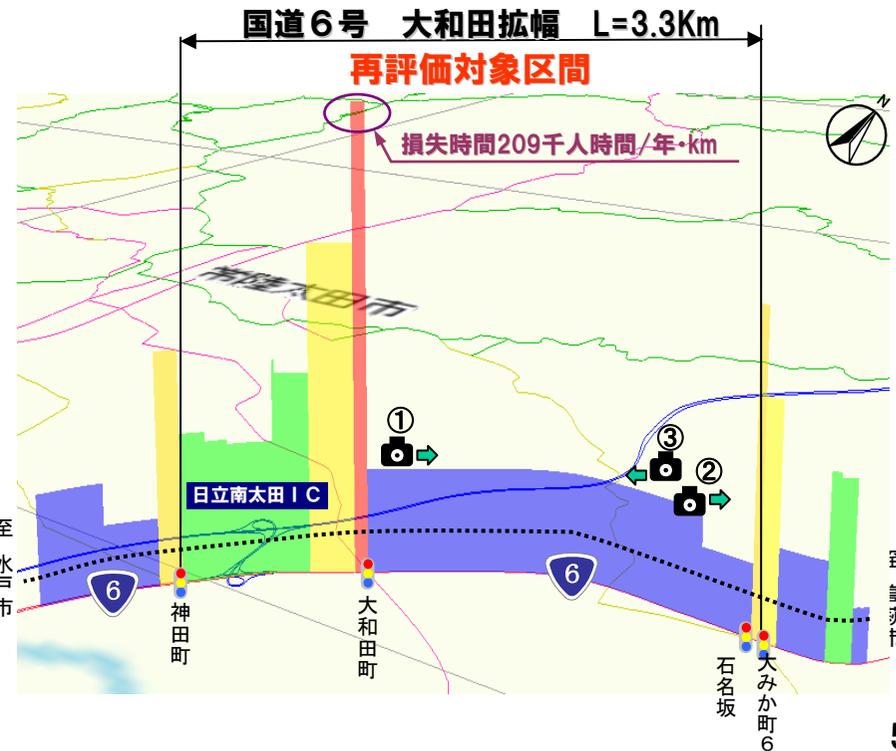


②石名坂町付近の交通状況



### 損失時間の現状(平成20年度)

- ・損失時間：約64千人時間/年・km  
(全国平均：約20.3千人時間/年・km)



資料：H20プローブ調査結果

# 4. 事業の必要性に関する視点

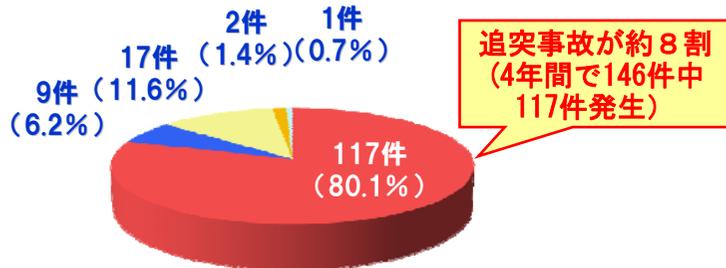
## (2) 国道6号の事故発生状況

- ・ 国道6号の当該区間には、大みか町6丁目交差点や大和田町交差点付近の単路部(石名坂地先)で死傷事故が多く発生。
- ・ 大みか町6丁目交差点では死傷事故率は、384件/年億台・kmであり、全国平均(102.6件/億台キロ)の約4倍となっている。
- ・ 死傷事故の内訳は、交差点停車車両末尾などでの追突事故が約8割発生。
- ・ 大和田拡幅整備により、交通事故の減少が期待される。

### 死傷事故件数(4年合計)の現状

#### ■ 国道6号の事故類型 (H17-H20)

- 車両相互(追突) ■ 車両相互(右折) ■ 車両相互(その他)
- 車両単独 ■ 人対車両



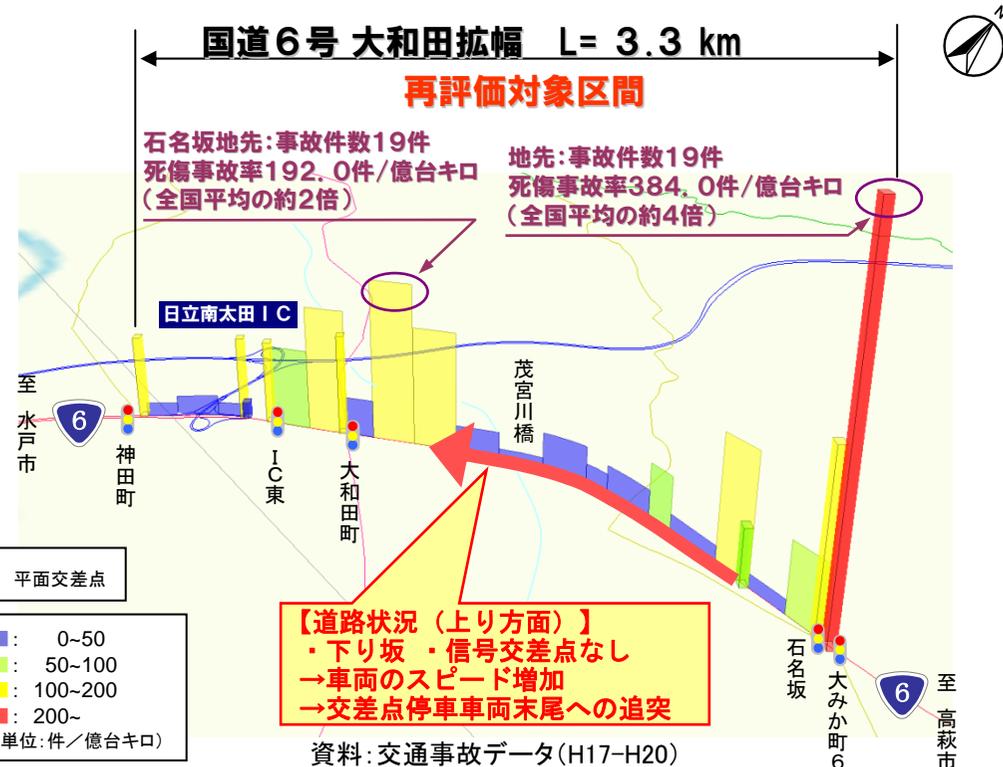
資料: 交通事故データ(H17-H20)



①石名坂~大みか町6付近

②茂宮川橋付近

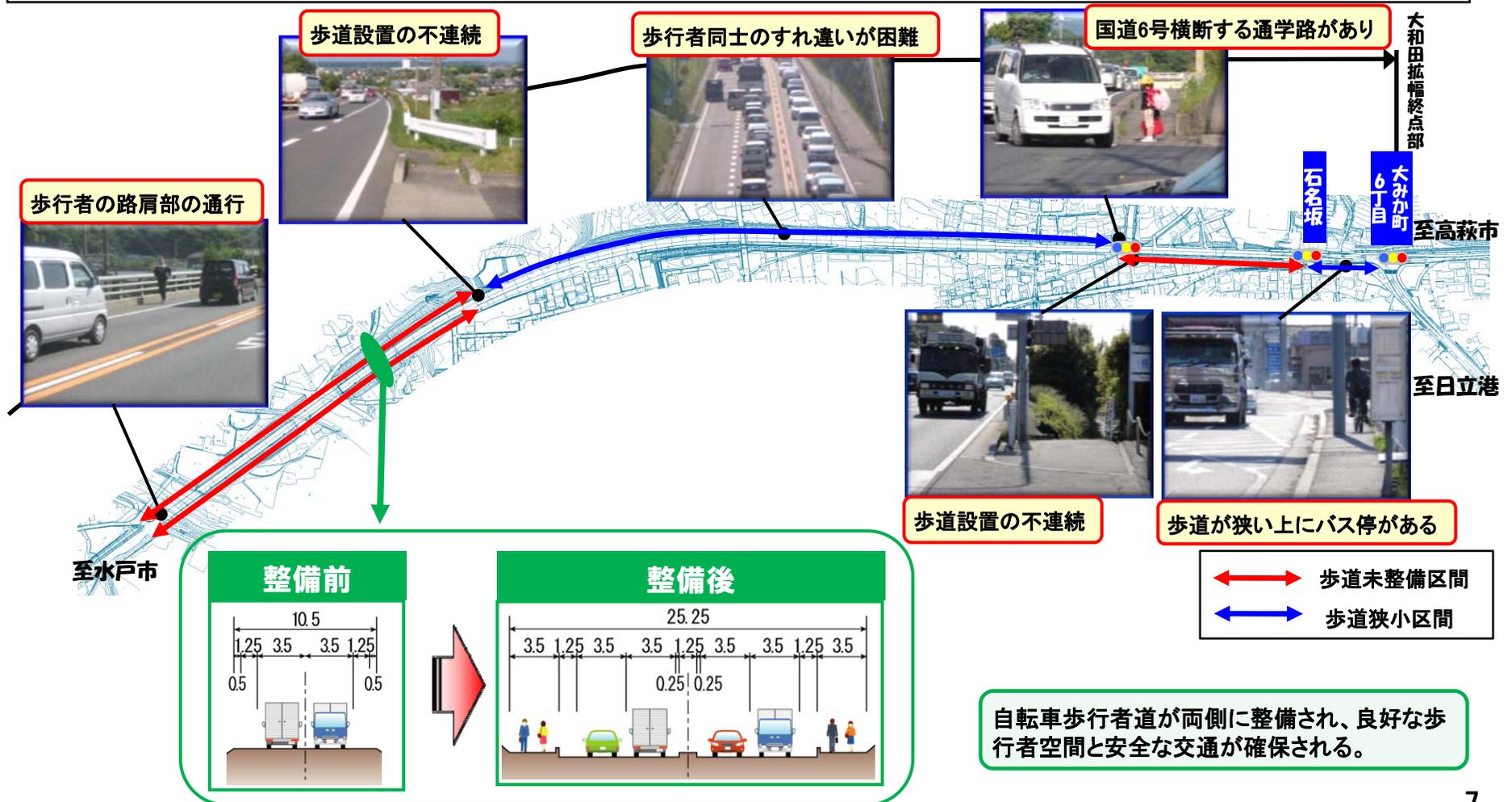
・ 死傷事故率: 約384.0件/億台・km  
(全国平均値: 約102.6件/億台・km)



# 4. 事業の必要性に関する視点

## (3) 国道6号の安全性向上

- ・ 国道6号の当該区間には、不連続の歩道や狭小幅員 (W=1.4m) 区間 (延長約1.6km: 対象区間の半分程度) があり、歩行者および自転車通行の安全性に問題がある。
- ・ 大和田拡幅整備により、自転車歩行者道が整備され、良好な歩行者空間と安全な交通が確保される。



## 5. 費用対効果(計算条件)

### ■総便益(B)

道路事業に関わる便益は、平成42年度の交通量を、整備の有無それぞれについて推計し、「費用便益分析マニュアル」に基づき3便益を計上した。  
【3便益: 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益】

### ■総費用(C)

当該事業に関わる建設費と維持管理費を計上した。

### ■計算条件

・基準年次	: 平成22年度
・供用開始年次	: 平成28年度
・分析対象期間	: 供用後50年間
・基礎データ	: 平成17年度道路交通センサス
・交通量の推計時点	: 平成42年度
・計画交通量	: 28,200 ~ 42,100 (台/日)
・事業費	: 約74億円
・費用便益比	: 2.6

### 〔参考: 前回評価(H17)〕

平成17年度
平成23年度
供用後40年間
平成11年度道路交通センサス
平成42年度
48,100 ~ 58,400 (台/日)
約74億円
4.3

# 5. 費用対効果

## ■事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	165億円	9.4億円	5.3億円	180億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	64億円		5.1億円	69億円	
					2.6

## ■残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	165億円	9.4億円	5.3億円	180億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	56億円		5.1億円	61億円	
					3.0

注1) 便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

注2) 費用及び便益額は整数止めとする。

注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

基準年：平成22年度

## 6. 事業進捗の見込みの視点

- ・大和田拡幅は、平成21年度から用地取得に着手し、取得率は5%（平成22年度末予定）。
- ・用地取得は引き続き実施。
- ・平成24年度に茨城県と日立市が進めている(主)石名坂多賀線(山側道路)が供用予定。
- ・事業化後、日立電鉄廃線（平成17年4月1日廃線）跡地利用の検討に伴う、交差方法の設計見直しや、渡河橋梁架替え部の工程見直しを実施。
- ・引き続き、拡幅整備に向けた事業促進を図る。

### ■ 工程表

	事業化	対外協議	幅杭設置	用地取得 着手	工事着手	
年度	H18	H19	H20	H21	H 22	H23～
用地					用地 取得率5% (H22末予定)	
工事						

# 7. 今後の対応方針(原案)

## (1) 事業の必要性等に関する視点

- ・当該区間の損失時間は、全国平均の約3倍。特に大和田町交差点付近では、全国平均の約10倍。
- ・大みか町交差点では、全国平均の約4倍の死傷事故が発生している。
- ・自転車歩行者道整備により良好な歩行者空間と安全な交通が確保される。
- ・当該道路周辺には、重点港湾に選定された茨城港(日立港区)があり、地域産業振興に寄与。
- ・当該区間整備により、茨城港(日立港)・周辺工場～常磐道日立南太田IC間のアクセス性が向上し、物流の効率化が期待される。  
また、日立市の観光施設や海水浴場へのアクセス性が向上し、周遊観光を促進することにより、観光産業の振興が期待される。
- ・費用対効果(B/C)は2.6。

## (2) 事業進捗の見込みの視点

- ・用地進捗率は5%(平成22年度末予定)でる。
- ・引き続き、拡幅整備に向けた事業促進を図る。

## (3) 都道府県・政令市からの意見

- ・茨城県知事の意見: 一般国道6号大和田拡幅は、日立市南部の交通渋滞の緩和、安全性の確保、地域連携の強化が図られるとともに、茨城港(日立港区)や常磐道日立南太田ICへのアクセス性が向上し、物流機能の効率化や地域産業の振興に大きく寄与することから、より一層のコスト縮減を図りながら、早期整備をお願いします。

## (4) 対応方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。